



# ②1 マコモ,ヨシ,オギ,ススキを見つけよう

The Search for Wild Rice, Reed and Japanese Pampas Grass

—植物調査プログラム—

## この活動のねらい

菅生沼をはじめ飯沼川周辺では、水面に近いところから台地に向かって、マコモ群落、ヨシ群落、オギ群落と変わっていきます。そしてさらに水面から高いところには、ススキ群落が見られます。どの地点にどの植物が見られるかによって、その場所が水面からどの程度高くなっているか、つまりその場所の地面のしめり具合が分かります。見慣れている植物をもう一度見つめ直し、そこから地面のようすについて考えてみましょう。

## 調べる生きものについて

マコモ、ヨシ、オギ、ススキは、すべてイネのなかまです。どれも背が高い植物で、一見するとよくにています。しかし、それぞれ生えるところがちがいます。マコモは水にいつもつかっているところ、ヨシは川岸などよく水につかる場所、オギは川原、ススキはもっとかわいたところ、というように生える場所がちがうのです。よく似た植物たちですが、それぞれの特徴を観察して、どこにどの植物が生えているか調べてみましょう。

特にオギとススキは、なかなか区別がつかない人も多くいます。十五夜にかざるススキですから、オギとの見分けもできるようにしたいですね。

## 安全上の注意

・葉で手を切らないように気を付けましょう。

ススキなどの葉で手を切ることがあるのは、プラントオパールといって、葉にガラス質をふくむ細胞があるからです。

## 調べ方

### 準備するもの

・記録用紙  
・地図

・筆記用具  
・カメラ

・植物図鑑

### 1 背の高いイネのなかまを見つける。

背の高いイネのなかまは、どんなところに生えているか見つけてみましょう。

### 2 調べる場所はどんなところかを調べる。

- ① 今から調べる場所がどこなのかを地図上で確かめましょう。くわしい住所がわかれば記録しておきます。
- ② その場所は、どんなふうに使われている場所かを記録します。  
例 グランド、家の庭、あき地、道路のわき、田んぼのあぜ道など
- ③ その場所の地面は、乾いたところか、しめったところか、地面のようすを記録します。



### 3 植物の名前を調べる。

背の高いイネのなかまを見つけたら、その名前を調べてみましょう。名前が分からないときには、採集して学校に持ち帰って調べましょう。標本にして保存しておくのもよいでしょう。

#### マコモ

沼地など、水につかっているところに生える。高さ2m近くまで大きくなる。葉は1m近くまでなる。



#### ヨシ

別名アシ。川岸などに生え、高さ1.5～3m。茎は刈り取って、よしず（よし）に利用する。葉は長さ20～50cm。



※マコモとヨシを見分けるときは、葉の長さを見てみましょう。

#### オギ

川原など、ススキよりしめったところに生える。株立ちにはならず、1本1本地面から出る。のぎはない。

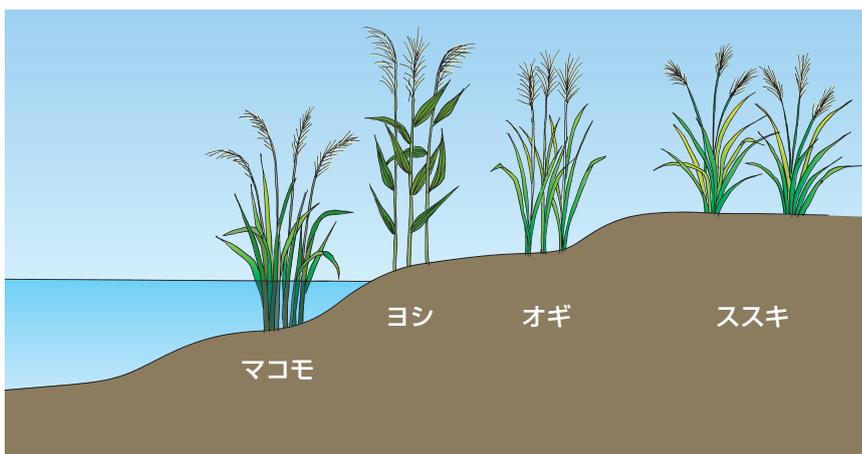


#### ススキ

別名オバナ。秋の七草の一つ。オギより乾いたところに株立ちになって生える。のぎはある。



※オギとススキを見分けるときは、根元を見てみましょう。花での見分けはP86を見て下さい。



それぞれの場所によって見られるイネのなかまにちがいががあります。



## イネのなかまの花は、なぜ目立たないの？

花というと、赤や黄色のあざやかな色を思いうかべる人も多いことでしょう。しかし、イネのなかまの花は、決してあざやかではなく、地味といえます。それは、あざやかな色で虫に来てもらい、花粉を運んでもらう必要がないからです。

イネのなかまは、花粉を風に運んでもらっているのです。



## 4 どこにどの植物があったかを、地図に記入する。

川や沼のある場所からどれくらいはなれたところなのかも、正確に記録できるといいでしょう。

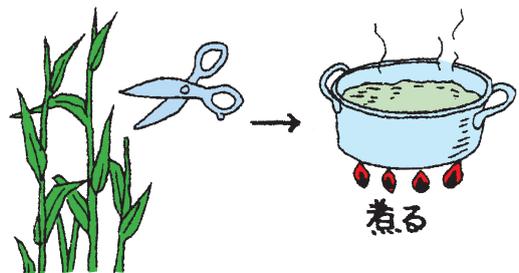
## 5 調査結果について話し合う。

- ① 土地のしめり具合（地下水位）とそこに見られる植物とは、どんな関係があるでしょうか。
- ② オギとススキは、それぞれどのようなところに多く見られたでしょうか。

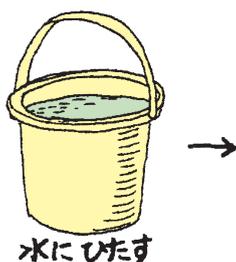
## じょうぶな紙をつくることもできるよ！

マコモ、ヨシ、オギ、ススキをはじめとしたイネのなかまからは、とてもじょうぶな紙をつくることができます。手作りの紙をつくってみてはいかがでしょうか。

- ① とってきた草の茎の部分を、3~5cmに切り、やわらかくなるまで煮こみます。  
※水酸化ナトリウムを少量入れるとやわらかくなるのが早いです。  
ただし、この薬品は危険ですので、先生といっしょに作業しましょう。



- ② やわらかくなったら、水でよくさらしましょう。



- ③ ミキサーを使って、細かくくだきます。



- ④ どろどろになった紙液を、水を入れた水そうに入れます。





## ガマは、しめったところに見られます

茶色くて大きなソーセージみたいなものを付けた植物を見たことはありませんか。その植物は、名前をガマといい、しめったところに生えます。茶色に見える部分がメスの花の集まりで、とてもよく目立ちます。オスの花はというと、よく見るとその上に集まって付いているのです。

ガマは、12月頃になると、たくさんのタネをとばします（84ページを見ましょう）。ガマのなかまは、ガマのほかにヒメガマ、コガマと合わせて3種類あり、とてもよく似ています。



ガマ

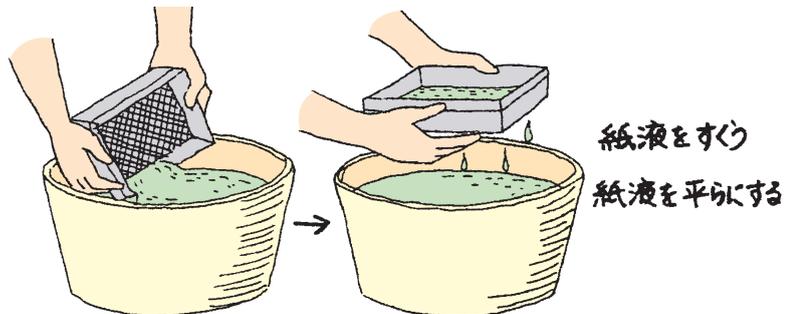
## 参考となる資料

相沢征雄. 1993. 野草で紙をつくる. 創和出版.

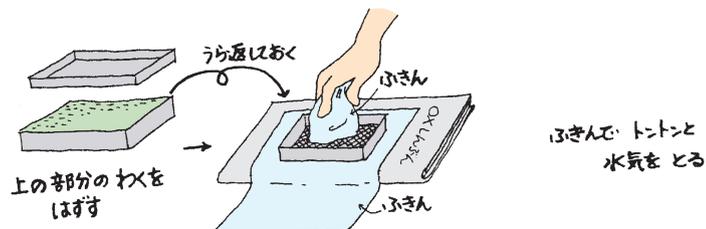
小林一夫. 1989. 紙をつくる. 大月書店.

【太田】

- ⑤ 紙すきわく（なければ、平たくて目の細かい金製の網<sup>あみ</sup>）を使って、紙すきをします。



- ⑥ すいた紙を取り出して、乾かせばできあがり。



- ※紙すきの仕方分からないことがあったら、博物館に聞いてください。

